



2025年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年6月13日

上場会社名 株式会社アクシージア 上場取引所 東
コード番号 4936 URL <https://axxzia.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 段 卓
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 福井 康人 TEL 03 (6911) 3899
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年7月期第3四半期の連結業績（2024年8月1日～2025年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年7月期第3四半期	10,080	10.6	426	△55.3	342	△70.3	211	△74.0
2024年7月期第3四半期	9,113	15.5	953	△28.8	1,155	△10.5	811	△3.7

（注）包括利益 2025年7月期第3四半期 91百万円（△90.2％） 2024年7月期第3四半期 936百万円（15.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第3四半期	8.99	—
2024年7月期第3四半期	32.59	32.53

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年7月期第3四半期	9,594	7,375	76.8
2024年7月期	10,543	8,536	80.9

（参考）自己資本 2025年7月期第3四半期 7,369百万円 2024年7月期 8,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年7月期	—	5.00	—		
2025年7月期（予想）				5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	13,281	8.9	440	△52.1	340	△69.7	140	△82.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名)

株式会社アクシージアテクノロジー、AXXZIA (Shenzhen) International E-Commerce Co., Ltd.、

除外 1社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年7月期3Q	24,107,000株	2024年7月期	25,167,000株
2025年7月期3Q	1,236,600株	2024年7月期	750,000株
2025年7月期3Q	23,512,173株	2024年7月期3Q	24,896,876株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針に変更に関する注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年8月1日～2025年4月30日）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、緩やかな回復基調が続いているものの、物価上昇が継続していることから個人消費には下押しの傾向も見られました。また、アメリカの政策動向の影響等もあり、依然として不透明感を伴う状況が続いております。

国内化粧品市場においては、引き続き堅調に推移いたしました。インバウンド消費についても、訪日外客数の増加に伴い、好調に推移いたしました。

中国化粧品市場においては、やや回復基調が見られたものの、景況感悪化に伴う消費マインドの低迷の継続や、中国ローカルブランドの台頭による競争激化を背景に、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、メイン市場である中国市場において状況打開に努め売上拡大を図るとともに、中国以外の地域における事業基盤確立及び販売強化を進めてまいりました。中国においては、消費マインド低迷による厳しい事業環境が続く中、主力製品である「AGドリンク」のリニューアルを行い、需要喚起を図ることで売上拡大を図るとともに、「AGドリンク」をコアとするエイジーセオリーブランドの化粧品の販売強化や、中国において需要が高まっているインナーケア分野への新製品の投入等に取り組んでまいりました。他方、日本国内においては、インフルエンサーを起用したSNS投稿やライブ販売の実施による日本国内における認知度向上による売上高拡大や、主要直営店であるGINZA SIX店のリニューアル、渋谷ヒカリエShinQs店のオープン等により、ブランドイメージの向上及びインバウンド需要の取込を図ってまいりました。その他の地域につきましては、ドバイや香港の展示会への出展や、東南アジア市場でのライブ販売及び百貨店へのPOPUP出店等、グローバルな市場開拓に取り組んでまいりました。以上の結果より、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりとなりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、2024年2月に子会社化した株式会社エムアンドディの連結効果等により、10,080,348千円（前年同四半期比10.6%増）となりました。一方で、原価率の高いエムアンドディ社の売上構成比が高まったことで連結での売上原価率も悪化したこと、同連結により人件費が増加したこと等の影響で、営業利益は426,287千円（前年同四半期比55.3%減）、経常利益は342,651千円（前年同四半期比70.3%減）となりました。

以上の結果により、親会社株主に帰属する四半期純利益は211,342千円（前年同四半期比74.0%減）となりました。

なお、当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

[業績の概要]

(単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減率
売上高	9,113	10,080	+10.6
営業利益	953	426	△55.3
経常利益	1,155	342	△70.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	811	211	△74.0

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて948,974千円減少し、9,594,350千円（前連結会計年度末比9.0%減）となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて977,376千円減少し、7,654,428千円（前連結会計年度末比11.3%減）となりました。主な要因は、現金及び預金の1,166,091千円減少、売掛金の531,352千円増加、商品及び製品の241,202千円減少、その他の88,741千円減少等によるものであります。また、固定資産は、前連結会計年度末に比べて28,401千円増加し、1,939,921千円（前連結会計年度末比1.5%増）となりました。要因は、有形固定資産が77,025千円増加及び無形固定資産が34,137千円減少し、投資その他の資産が14,486千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて212,766千円増加し、2,219,218

千円（前連結会計年度末比10.6%増）となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて243,546千円増加し、1,928,350千円（前連結会計年度末比14.5%増）となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が93,800千円減少、未払金が324,932千円増加したこと等によるものであります。また、固定負債は、前連結会計年度末に比べて30,780千円減少し、290,867千円（前連結会計年度末比9.6%減）となりました。主な要因は、長期借入金が85,510千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,161,740千円減少し、7,375,131千円（前連結会計年度末比13.6%減）となりました。主な要因は、配当金の支払い358,522千円、自己株式の消却718,584千円等により利益剰余金が減少したこと等によるものです。

なお、自己資本比率は76.8%（前連結会計年度末は80.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細につきましては、本日（2025年6月13日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,928,836	3,762,745
売掛金	829,289	1,360,642
商品及び製品	1,892,571	1,651,369
仕掛品	11,429	10,104
原材料及び貯蔵品	208,832	242,302
未収還付法人税等	44,421	279
その他	725,734	636,993
貸倒引当金	△9,311	△10,008
流動資産合計	8,631,804	7,654,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	699,339	713,752
土地	385,132	396,595
その他（純額）	223,766	274,915
有形固定資産合計	1,308,238	1,385,263
無形固定資産		
のれん	133,154	111,754
その他	129,091	116,354
無形固定資産合計	262,246	228,109
投資その他の資産		
繰延税金資産	175,575	179,538
その他	165,459	147,010
投資その他の資産合計	341,035	326,549
固定資産合計	1,911,520	1,939,921
資産合計	10,543,324	9,594,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	224,577	184,932
短期借入金	450,000	450,220
1年内返済予定の長期借入金	220,280	126,480
未払金	525,201	850,134
未払法人税等	56,194	7,856
賞与引当金	41,944	84,798
株主優待引当金	10,883	3,261
その他	155,722	220,666
流動負債合計	1,684,804	1,928,350
固定負債		
長期借入金	278,730	193,220
繰延税金負債	1,976	2,227
その他	40,941	95,420
固定負債合計	321,647	290,867
負債合計	2,006,452	2,219,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,505	2,155,505
資本剰余金	2,057,304	2,057,304
利益剰余金	4,776,900	3,911,136
自己株式	△655,867	△838,300
株主資本合計	8,333,842	7,285,646
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	200,201	84,212
その他の包括利益累計額合計	200,201	84,212
非支配株主持分	2,828	5,273
純資産合計	8,536,872	7,375,131
負債純資産合計	10,543,324	9,594,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
売上高	9,113,821	10,080,348
売上原価	1,734,242	2,698,009
売上総利益	7,379,578	7,382,338
販売費及び一般管理費	6,425,592	6,956,051
営業利益	953,986	426,287
営業外収益		
受取利息及び配当金	39,661	13,737
為替差益	145,530	—
補助金収入	24,477	30,917
その他	2,668	5,757
営業外収益合計	212,336	50,412
営業外費用		
支払利息	4,384	13,245
持分法による投資損失	1,076	12,805
自己株式取得費用	4,431	1,535
為替差損	—	104,550
その他	986	1,911
営業外費用合計	10,879	134,048
経常利益	1,155,443	342,651
特別利益		
固定資産売却益	14,280	414
特別利益合計	14,280	414
特別損失		
固定資産除却損	—	5,157
特別損失合計	—	5,157
税金等調整前四半期純利益	1,169,723	337,908
法人税、住民税及び事業税	346,470	159,662
法人税等調整額	15,679	△29,542
法人税等合計	362,149	130,120
四半期純利益	807,573	207,787
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△3,803	△3,555
親会社株主に帰属する四半期純利益	811,376	211,342

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年8月1日 至 2024年4月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年8月1日 至 2025年4月30日）
四半期純利益	807,573	207,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	624	—
為替換算調整勘定	127,882	△115,988
その他の包括利益合計	128,506	△115,988
四半期包括利益	936,080	91,798
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	939,883	95,354
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,803	△3,555

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年9月20日開催の取締役会決議に基づき、2024年9月24日から2024年9月27日までの期間において自己株式486,600株を取得いたしました。また、2024年12月13日開催の取締役会決議に基づき、2024年12月17日付で自己株式1,060,000株を取得し、2025年1月10日付で自己株式1,060,000株の消却を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間において、自己株式が182,433千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が838,300千円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	99,499千円	110,936千円
のれん償却費	8,967	21,399

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年8月1日 至 2024年4月30日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年8月1日 至 2025年4月30日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

当社は、2025年5月9日付けで、東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更の申請を行いました。現時点では承認日は未定であり、また、当社の変更申請が株式会社東京証券取引所の承認を受けられるかどうかにつきましても、何らかの理由で変更要件が満たされない際には、認められない場合があります。

今後、本件に関して開示すべき事項が発生した場合には、速やかに公表を行います。